

武豊町地域公共交通協議会

平成21年4月30日設置

フィーダー系統 平成24年6月13日NW計画策定

地域公共交通総合連携計画 平成22年3月4日策定

調査事業の概要

◎調査事業の背景

武豊町は、名鉄河和線の3駅、JR武豊線1駅の鉄軌道があるが、路線バスについては運行されていないため、公共交通空白問題を抱えていた。

少子高齢化・人口減少社会に対応した生活交通の確保は不可欠であり、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の施行等を契機に、地域公共交通会議を設置し、武豊町地域公共交通総合連携計画を策定し、コミュニティバスの試行運行を平成22年7月27日及び、事前予約制バス（タクシー）を平成23年9月1日より試行運行を開始した。

さらに、地域公共交通総合連携計画をふまえ、武豊町地域公共交通会議が事業主体として試行運行している、コミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として位置づけた「生活交通ネットワーク計画」を平成24年6月に策定し、本格運行を行ってきている。

◎交通計画の策定調査の必要性

これまで上記取組を行ってきたが、平成22年3月に策定した「地域公共交通総合連携計画」は来年度平成27年3月をもって計画期間を終了する予定で、来年度抜本的見直しに向けた基礎調査が必要とされている。

特に、コミュニティバスの4つルート単位毎に、利用状況や沿線住民の将来意向を確認し、それぞれ改編に向けた検討を行っていく必要がある。

そこで、地域公共交通調査事業を活用し、現在国の支援を受けている地域内フィーダー系統確保維持計画の来年度見直しを見据え、来年度地域公共交通総合連携計画を抜本的に見直しするために、本年度、「住民」「利用者」「関係者」のニーズを把握するための基礎調査を必要としている。

◎調査の主な内容

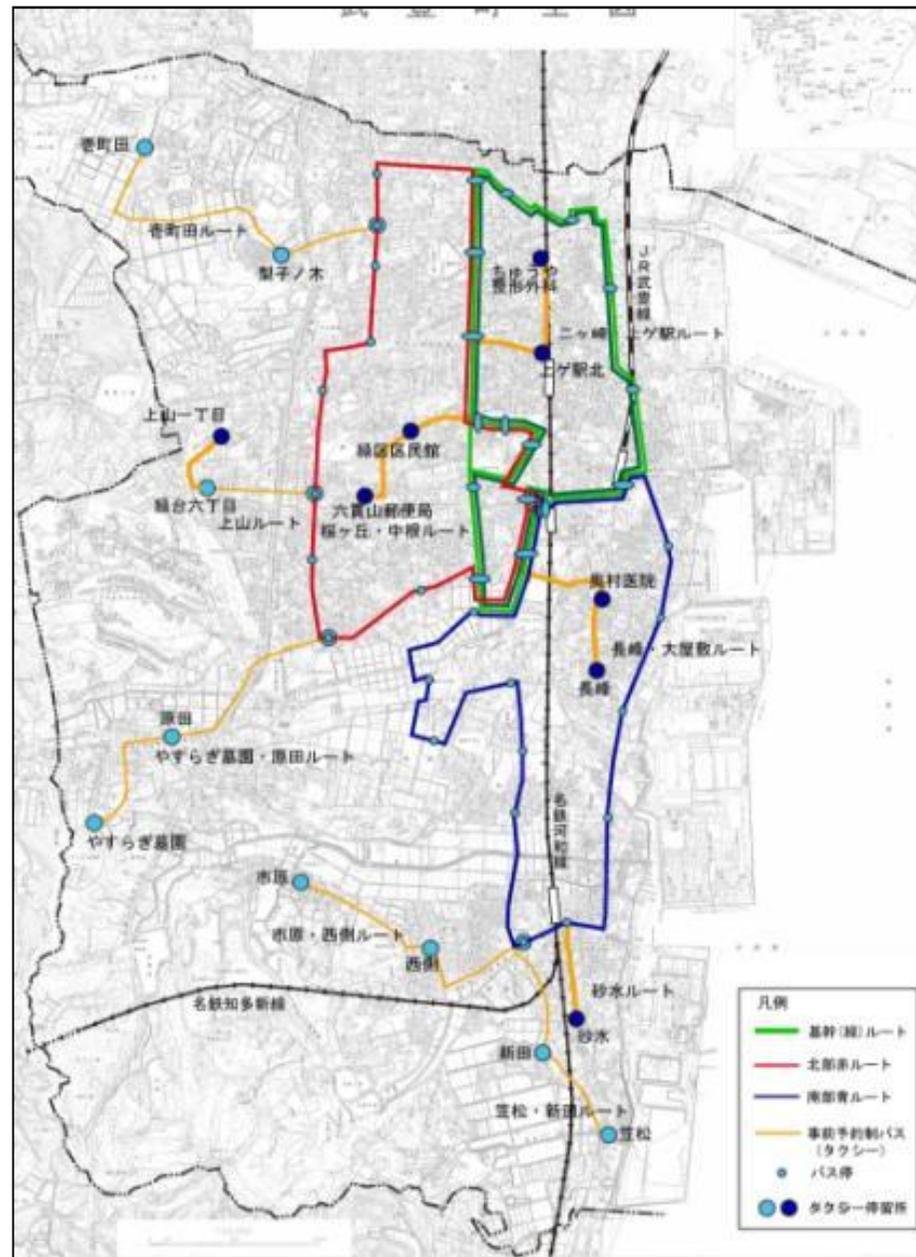
- 武豊町の現況調査
- 町民ニーズ検討
- 利用者ニーズ検討
- 関係者ヒアリング調査
- 課題整理・対応方針の検討

◎協議会の開催状況（予定を含む）

- ①H25.6.13、②H25.9.26、③H26.1.27、④H26.3

◎調査結果の概要（予定を含む）

上記調査から課題問題点を抽出し、地域公共交通総合連携計画の基本方針「お年寄り等が、安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足の確保」と計画の目標「交通空白地域の解消等」について、見直しの必要性があるか確認する。



具体的取り組みに対する評価

①町民アンケート調査の実施(A評価)

- ・町民3,000人に対するアンケート調査を実施。
- ・有効回答数1,510人(回収率50.3%)
- ・コミュニティバスの事業実施効果や、税投入とサービス水準のあり方、自動車利用から公共交通への転換見通しなどについて確認できた。

②利用者アンケート調査の実施(A評価)

- ・利用者に対するアンケート調査を実施。
- ・有効回答数69票の回収。
- ・利用しはじめた「きっかけ」、事業の実施効果、運行サービスの満足度、税負担とサービス水準のあり方などについて確認できた。

③関係者ヒアリング調査の実施(A評価)

- ・コミュニティバス等のメインターゲットとなる高齢者や事業支援者(利用促進友の会)、交通事業者に対するヒアリング調査を実施した。
- ・現状の課題問題点、ユーザーの要望、事業改善アイデア、利用促進策等の意見を確認した。

アピールポイント(特に工夫した点)

○メインユーザーの声の把握＝『憩いのサロン』への出張ヒアリング

- ・コミュニティバスと乗合タクシーのメインユーザーである「高齢者」に対する「利用促進」と公共交通に対する「生」の声を確認するため、高齢者が集まる「憩いのサロン」に出張し、意見交換を実施。
- ・町内5カ所、200人を超える参加者から要望意見を確認した。
- ・公共交通の利用方法「ちらし」を配布し、利用の定着ができていない「乗合タクシー」の利用方法の説明も行う。
- ・出張ヒアリングの実施により、自治体が意見を聞いて回る姿勢が評価された。

「憩いのサロン」での意見聴取風景



○住民主導による利用促進活動の展開

- 【ソフト系事業】イベント実施による利用促進活動
- 「竜宮戦士竜斗とゆく浦島伝説探検ツアー」開催
 - ・H25.4.28開催、保育園・小学生等20名の参加
- 写生大会「吉町田湿地を描こう」
 - ・H25.7.27開催、保育園から大人まで17名の参加
- 【ハード系事業】
- マイベンチ事業(ペンキ・ニス塗りや補強作業)
- コミュバスニュースの発行 他

生活交通ネットワーク計画の策定(改訂)に向けた方針等

第1次・連携計画の自己評価

連携計画の計画目標

- 1)交通空白地域の解消
- 2)移動制約者へのサービス提供
- 3)目的施設へのアクセス
 - ⇒コミュニティバス・乗合タクシーにてサービス提供実施。ほぼ達成済み

連携計画の事業評価指標

- 1)市街化調整区域面積に対するカバー率
 - ⇒停留所300m圏域のカバー割合:85.1% ◎
- 2)利用者数・収支率の向上
 - ⇒コミバス・乗合タクシーの年間利用者数は増加傾向 ◎
 - ⇒ルート・停留所別では利用に偏り発生 ▲
- 3)利用者満足度の向上
 - ⇒H25年度調査で初めて数値低下 ▲

H25年度調査事業で把握できた「地域が抱える現状の課題問題点」

- 1.現況調査分析から見た課題問題点
 - ・人口は増加、少子高齢化進展、市街化区域内カバー率:85.1%
- 2.町民アンケート調査結果から見た課題問題点
 - ・公共交通の利用実態は1割にも満たない。
 - ・事業実施効果について「何も変わらない」との回答が過半数を超える。
 - ・税投入・サービス水準は、現状のままが良いが過半数の意見。
- 3.利用者アンケート調査結果から見た課題問題点
 - ・利用が定着し、既存サービス水準が当たり前となり満足度は低下。
 - ・事業実施効果として、利便性・安心感・豊かさなどの効果が確認。
- 4.関係者ヒアリング調査結果から見た課題問題点
 - 交通事業者＝ルート毎の部分見直し等について指摘
 - 地元関係者＝赤・青ルートの逆回り運行等の要望など

第2次計画改訂(今後)

課題問題点をふまえ現計画内容の見直し(改訂)を行う。(H26年度)

- 利用していない住民が多く、今後の対応も「わからない」という回答も多いことから、住民の理解や参画(協力)を進める必要がある。
- アンケートでは、税投入・サービス水準については現状を維持する意見が多く、新たな税投入によるサービス強化は求められていない。
- 現行の事業を基本的に踏襲し、大規模な税投入を行わない範囲で、事業維持・改善を進める。

アピールポイント(特に工夫した点) (参考)

○住民主導による利用促進活動の展開＝平成25年度「武豊町コミュニティバス利用促進友の会」の事業概要

【ソフト系事業】

○「竜宮戦士竜斗とゆく 浦島伝説 たんけんツアー」
(平成25年4月28日(土)開催)

武豊町観光ガイドボランティア、浦島探検隊の協力を得て、ご当地ヒーロー「竜宮戦士竜斗」と一緒に浦島伝説を訪ねる観光ツアーを開催。

当日は保育園、小学生の子供たちなど20名の参加があり、役場から「ゆめころん」に乗って、東大高公民館前停留所で降りた参加者は、ウォーキングで各所を訪ねた。

「亀の墓」がある東大高地区の真楽寺では浦島伝説の紙芝居を見学。「玉手箱」がある知里府神社を訪ね、最後は富貴地区の竜宮神社で竜斗ショーを満喫した。



【ハード系事業】

○マイベンチ事業

町内18か所に設置してあるマイベンチは作成から2年が経過し、表面の劣化やがたつきが出てきたため、ペンキ・ニス塗りや補強を行った。作業には障がい者向け自助具を作成するボランティアグループ「チーム自助具inたけとよ」のメンバーなどに協力をいただいた。今後も定期的に補修などをしていく予定。



○写生大会「壱町田湿地を描こう」(平成25年7月27日(土)開催)

「ゆめころん」に乗って、愛知県自然環境保全地域にも指定されている「壱町田湿地」に向かい、湿地の風景を写生する企画。

当日は保育園から大人まで17名の参加があり、新鹿ノ子田橋南停留所で降りた参加者は徒歩で湿地へ向かい、湿地の説明をボランティアさんから受けた後、思いおもいの場所で湿地を描いた。

普段は一般公開されていないが、このイベントのために公開していただき、子供たちにとっても夏の思い出のひとつとなった。

作品はコミュニティバス内、役場内で展示し、バスの車内では人気投票も行い、優秀作品については武豊町長や教育長から表彰をさせていただいた。



○スタンプラリー企画(2月～3月実施予定)

ゆめたろうプラザや観光拠点施設「夢乃蔵」など、町内の拠点にスタンプを設置し、スタンプシートを配布。「ゆめころん」に乗って、各ポイントのスタンプを集めていただき。景品など特典をえられるというもの。

○コミュニティバスニュース

事業にあわせて、発行。イベントの告知や事業報告、会員募集を広報紙面を使って掲載している。

○ホームページ事業

これまでの友の会の活動を整理し、活動状況やイベント企画の情報発信のツールとして作成していく。そして随時ホームページの更新を行っていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成26年〇月〇日

協議会名： 武豊町地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【調査事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>●調査検討として、</p> <p>①現況調査(利用実態等)、</p> <p>②町民ニーズ検討、</p> <p>③利用者ニーズ検討、</p> <p>④関係者ヒアリング調査を実施し、</p> <p>●課題整理・対応方針の検討を行う。</p> <p>検討作業の実施にあたっては、武豊町地域公共交通会議を都合3回程度開催し、関係者間の合意形成を行う。</p>	A	<p>①「現況調査」、②「町民ニーズ検討(3000票配布・1510票回収)」、③「利用者ニーズ検討(69票回収)」、④「関係者ヒアリング調査」を実施しており、課題整理及び対応方針の検討に努めており、調査事業については適切に実施されている。</p>	<p>○平成26年度に「地域公共交通総合連携計画」の改訂を行う。</p> <p>○連携計画の改訂を通して、「コミュニティバス等の事業見直し」を行い、コミュニティバスを「フィーダー路線」として位置づけ、平成25年度に策定した「生活交通ネットワーク計画」を更新し、事業継続を図る。</p> <p>○フィーダー路線の利用促進を図るため、住民組織等による利用促進活動の実施、時刻表の作成(H26年度以降)等を行い、地域協働推進事業の活用を予定する。</p>

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告

平成 年 月 日

協議会名:	武豊町地域公共交通会議
-------	-------------

実施事業:	確保維持事業				バリア解消促進等事業			調査等事業	
	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	協働推進
								○	

地域の交通の目指す姿:	<p>公共交通の基本方針(将来像)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お年寄り等が、安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足の確保 <p>将来像を達成するための計画の目標:地域公共交通(コミュニティバス)のサービス設定の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市街化区域内での地域公共交通空白地域を解消する。 ○移動制約者に対して地域公共交通サービスを提供する。 ○武豊町の拠点エリア・基本的な目標施設へアクセスできるサービスを提供する。 <p>※「武豊町地域公共交通総合連携計画(平成22年3月策定)」より抜粋</p>
-------------	--